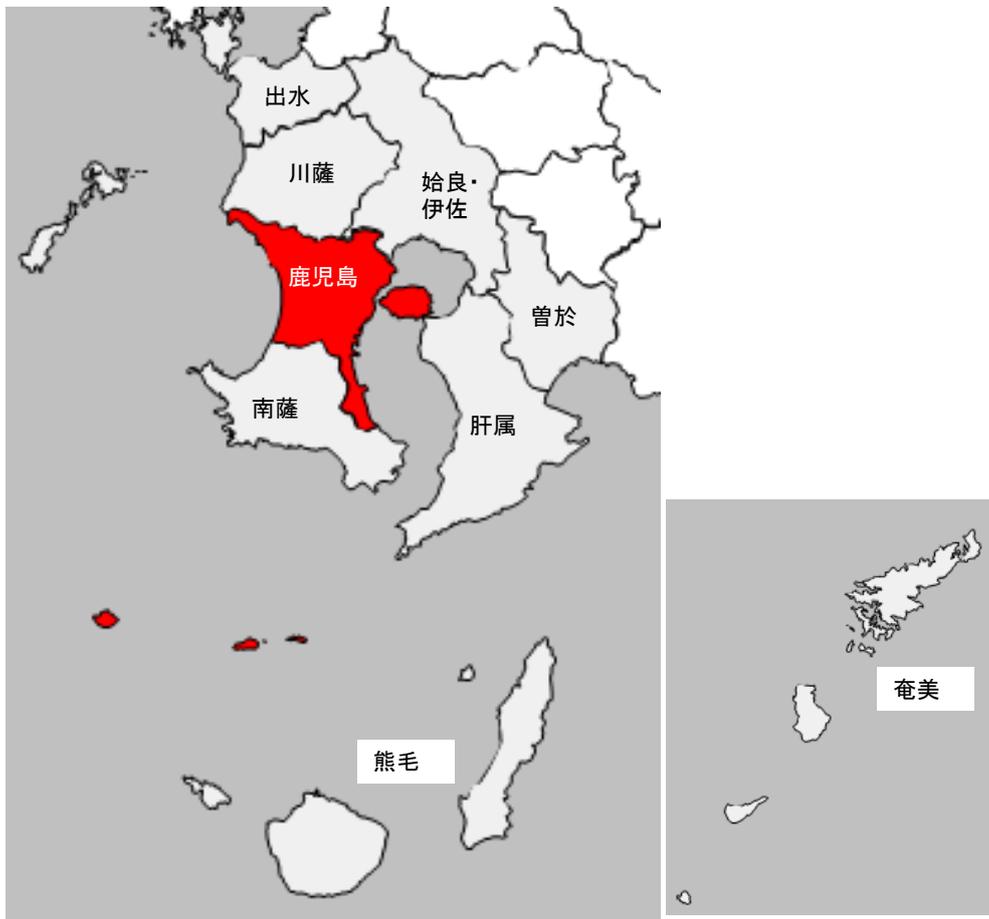


46. 鹿 児 島 県



4.6 鹿児島県

A. 医療提供体制の現状

鹿児島県の特徴は、(1) 多い病床数、特に多い療養病床、精神病床、(2) 鹿児島への集中と周辺地域の鹿児島依存、奄美の健闘である。

(1) 多い病床数、特に多い療養病床、精神病床

全県を通しての偏差値が、病床数(6.8)、一般病床(5.8)、病院勤務医(5.2)、全身麻酔数(4.9)、看護師数(6.7)と、病床と看護師は非常に多く、一般病床、病院勤務医は多め、全身麻酔件数は全国平均である。一般病床数と比べ病床数は多く、離島を除けば、全県的に、療養病床、回復期、精神病床が多い。

(2) 鹿児島への集中と周辺地域の鹿児島依存、奄美の健闘

医学部のある鹿児島に鹿児島県の40%の人口が集中するが、病院勤務医の58%、全身麻酔の75%、総看護師数の45%が集中しており、鹿児島への手中傾向が強い。鹿児島以外の医療圏では、曾於を除くと、看護師数の偏差値が5.4以上(多くは6.0以上)、病床数は5.2以上(多くは6.0以上)だが、病院勤務医数の偏差値は4.8以下、全身麻酔数は4.5以下であり、全県的に過疎型の医療提供体制である。

離島の奄美の偏差値が、一般病床数(6.4)、病院勤務医(4.6)、全身麻酔(4.5)、看護師数(6.6)であり、沖縄の宮古と並ぶ、日本の離島の医療圏の中で、最も充実した医療が提供されている。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(鹿児島)

鹿児島には鹿児島大学があり、鹿児島県全域から患者が集まってくる。病床数(6.8)、一般病床数(6.2)、病院勤務医数(6.2)、全身麻酔数(6.2)、看護師数(7.3)と高い医療資源レベルであり、現在でも過剰感が強い。2010→35年の鹿児島県全体の総医療需要が1%減、0-64歳の医療需要が29%減、鹿児島の総医療需要が9%増、0-64歳の医療需要が25%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と鹿児島で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要があるだろう。同時に、75歳以上医療需要の53%増加が予想されるため、高齢者施設や住居の増強や急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(南薩、川薩、肝属、出水、始良・伊佐)

鹿児島と曾於と離島を除いた鹿児島県の5つの医療圏は、病床数の偏差値が(60)から(83)、一般病床が(49)から(69)、病院勤務医(41)から(48)、全身麻酔数(35)から(47)、看護師数(56)から(76)と、いずれの医療圏も、過疎型地域としては、比較的高い医療資源レベルであり、病床数と看護師数は非常に多いが、病院勤務医と全身麻酔数が少ない。また、これらの地域は共通して、療養、回復期、精神の病床が多く、高度医療は、鹿児島に依存している。いずれの地域も、2010→35年の医療の総需要が16%減から3%増、0-64歳が24%減から36%減と、急性期医療の需要は大きく減少する。一方75歳以上の医療需要は、南薩、川薩、肝属の伸びは小さく、出水は14%増、始良・伊佐は28%増である。南薩、川薩、肝属は、一般病床の削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島からの支援とドクターヘリを含めた連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。出水、始良・伊佐は、後期高齢者増を視野に入れ、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、鹿児島からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

(曾於)

曾於は、病床数(52)、一般病床数(39)、病院勤務医数(36)、全身麻酔数(32)、看護師数(44)と、九州において最も医療資源レベルの低い地域の一つである。2010→35年の医療の総需要が15%減、0-64歳が40%減より、病床削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島からの支援とドクターヘリを含めた連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

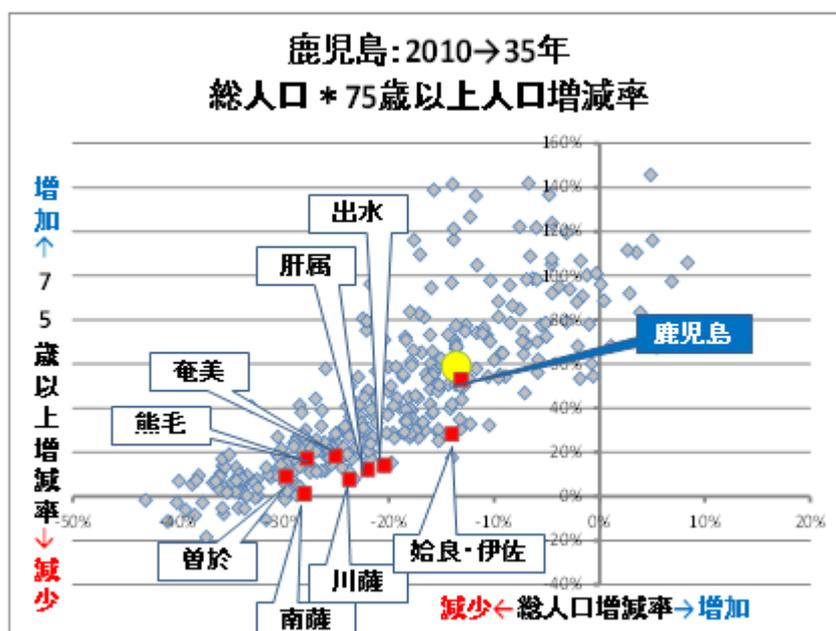
(熊毛、奄美)

屋久島、種子島を中心とする熊毛と奄美では、病床数(52)と(68)、一般病床が(59)と(64)、病院勤務医(40)と(46)、全身麻酔数(38)と(45)、看護師数(54)と(66)と、一般病床数と看護師は多いが、病院勤務医と全身麻酔数が少ない。2010→35年の医療の総需要が10%減と6%減、0-64歳が40%減と39%減、75歳以上が17%増と18%増を考えると、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、高齢者用の施設や住宅を状況に応じ整備し、鹿児島からの支援強化やドクターヘリを含む連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

表 46-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
鹿児島県	1,706,242	24位	9,189	10位	185.7		26%	-19%	26%
鹿児島	688,887	40%	1,045	11%	659.3	地方都市型	22%	-13%	53%
南薩	145,803	9%	865	9%	168.5	過疎型	33%	-28%	1%
川薩	123,698	7%	987	11%	125.3	過疎型	29%	-24%	8%
出水	89,880	5%	581	6%	154.8	過疎型	30%	-20%	14%
始良・伊佐	243,195	14%	1,372	15%	177.3	過疎型	26%	-14%	28%
曾於	86,470	5%	781	9%	110.7	過疎型	33%	-30%	9%
肝属	164,082	10%	1,323	14%	124.0	過疎型	29%	-22%	12%
熊毛	45,454	3%	995	11%	45.7	過疎型	31%	-28%	17%
奄美	118,773	7%	1,240	13%	95.8	過疎型	29%	-25%	18%

図 46-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A. 「医療提供体制の現状」、表46-1、表46-2、表46-5、図46-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3
 (図46-5)

表 46-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
鹿児島県	37,410	2.2%	2,193	68	15,617	1.7%	915	58	25,688	1.9%	102	53
鹿児島	15,320	41%	2,224	68	6,998	45%	1,016	62	8,302	32%	105	55
南薩	4,299	11%	2,948	83	1,325	8%	909	58	2,707	11%	94	49
川薩	2,261	6%	1,828	60	902	6%	729	51	2,167	8%	103	54
出水	1,643	4%	1,828	60	619	4%	689	49	1,525	6%	99	52
始良・伊佐	5,791	15%	2,381	71	1,774	11%	729	51	3,755	15%	107	55
曾於	1,213	3%	1,403	52	380	2%	439	39	1,506	6%	93	49
肝属	3,607	10%	2,198	68	1,943	12%	1,184	69	2,823	11%	101	53
熊毛	645	2%	1,419	52	429	3%	944	59	607	2%	78	41
奄美	2,631	7%	2,215	68	1,247	8%	1,050	64	2,296	9%	110	57

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 46-2 病床数（人口 10 万当たり）、総高齢者ベッド数（75 歳以上 1,000 人当たり）

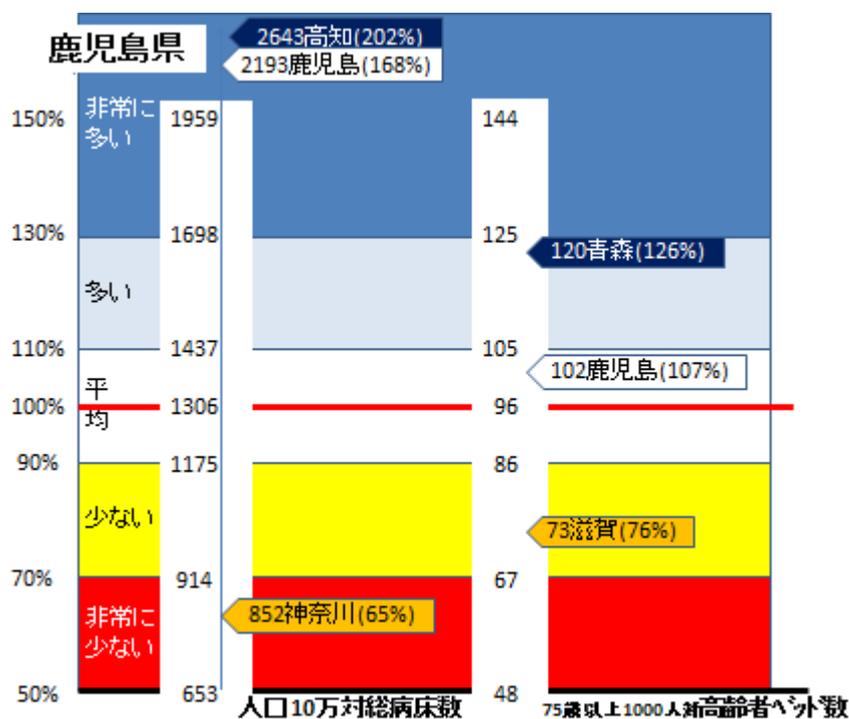


表 46-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
鹿児島県	9,579	2.9%	561	64	1,916	3.1%	112	65	10,022	2.9%	587	65
鹿児島	3,586	37%	521	63	886	46%	129	68	3,701	37%	537	63
南薩	1,127	12%	773	75	206	11%	141	71	1,613	16%	1,106	89
川薩	637	7%	515	62	137	7%	111	64	581	6%	470	59
出水	352	4%	392	56	123	6%	137	70	545	5%	606	66
始良・伊佐	1,895	20%	779	75	330	17%	136	70	1,734	17%	713	71
曾於	589	6%	681	70	16	1%	19	43	220	2%	254	49
肝属	791	8%	482	61	170	9%	104	63	699	7%	426	57
熊毛		0%	0	37	48	3%	106	63	162	2%	356	54
奄美	602	6%	507	62		0%	0	39	767	8%	646	68

表 46-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
鹿児島県	1	0.5%	0.6	46	8	2.1%	4.7	55	2,413	2.7%	141	69
鹿児島	1	100%	1.5	49	2	25%	2.9	50	1,078	45%	156	73
南薩	0	0%	0	43	1	13%	6.9	61	249	10%	171	77
川薩	0	0%	0	43	1	13%	8.1	64	166	7%	135	67
出水	0	0%	0	43	0	0%	0	42	87	4%	97	57
始良・伊佐	0	0%	0	43	1	13%	4.1	53	390	16%	160	74
曾於	0	0%	0	43	1	13%	11.6	74	53	2%	61	48
肝属	0	0%	0	43	1	13%	6.1	59	266	11%	162	74
熊毛	0	0%	0	43	0	0%	0	42	38	2%	84	54
奄美	0	0%	0	43	1	13%	8.4	65	86	4%	72	51

表 46-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
鹿児島県	2,238	1.4%	131	52	17,740	2.1%	1,040	67	21,882	1.2%	1,282	49
鹿児島	1,298	58%	188	62	8,059	45%	1,170	73	16,454	75%	2,388	62
南薩	161	7%	110	48	1,790	10%	1,227	76	424	2%	291	36
川薩	123	5%	99	46	1,078	6%	871	60	820	4%	663	41
出水	66	3%	73	41	719	4%	800	56	1,016	5%	1,130	47
始良・伊佐	226	10%	93	44	2,455	14%	1,010	66	572	3%	235	35
曾於	43	2%	50	36	449	3%	519	44	0	0%	0	32
肝属	170	8%	104	46	1,638	9%	998	65	1,214	6%	740	42
熊毛	32	1%	70	40	337	2%	741	54	212	1%	466	38
奄美	119	5%	100	46	1,216	7%	1,023	66	1,170	5%	985	45

図 46-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

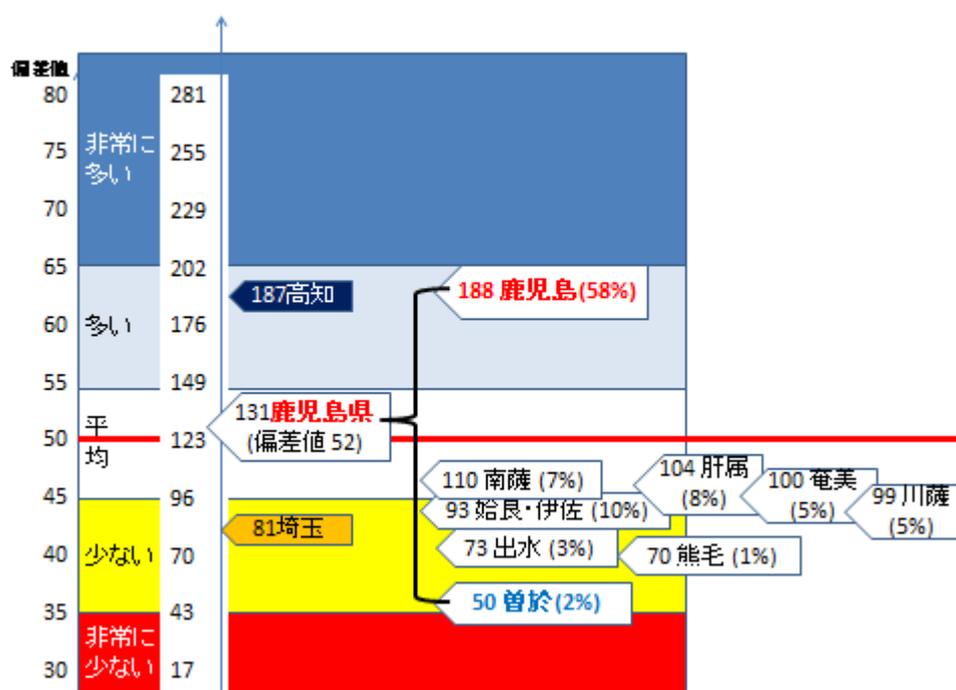


図 46-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

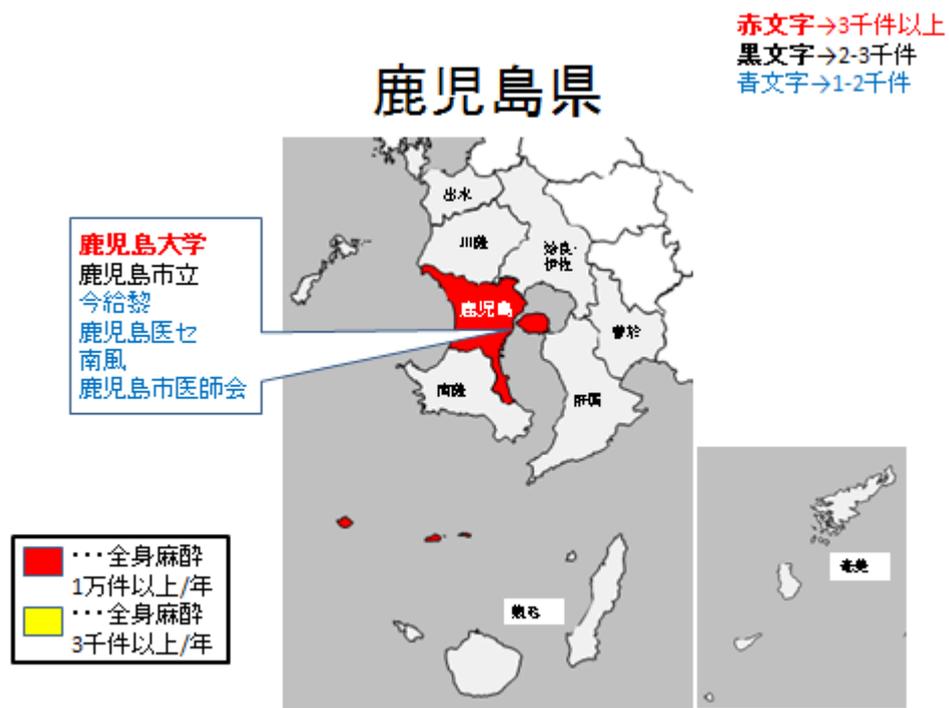


図 46-5 二次医療圏（流入出）

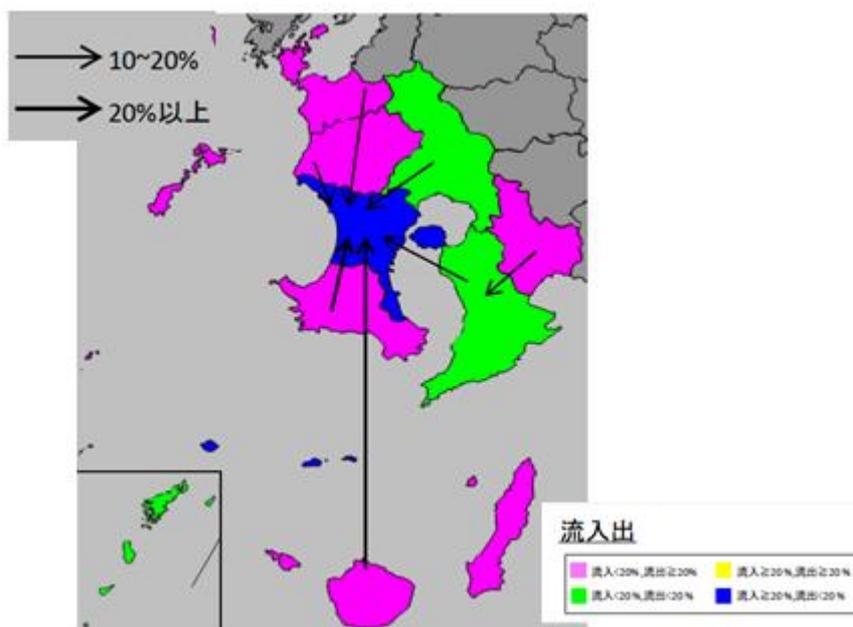


表 46-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
鹿児島県	13,464	1.9%	53	53	5,463	1.8%	22	50	8,001	2.0%	32	54
鹿児島	3,820	28%	48	48	1,710	31%	22	49	2,110	26%	27	49
南薩	1,609	12%	56	55	641	12%	22	51	968	12%	34	55
川薩	1,306	10%	62	61	496	9%	24	53	810	10%	39	60
出水	791	6%	51	51	311	6%	20	47	480	6%	31	53
姶良・伊佐	1,783	13%	51	51	793	15%	23	51	990	12%	28	50
曽於	854	6%	53	53	375	7%	23	52	479	6%	30	52
肝属	1,445	11%	52	52	540	10%	19	45	905	11%	32	54
熊毛	429	3%	55	54	99	2%	13	34	330	4%	42	64
奄美	1,427	11%	68	66	498	9%	24	53	929	12%	44	66

表 46-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
鹿児島県	12,224	1.9%	48	52	3,125	1.3%	12.4	46	4,756	3.0%	18.9	63
鹿児島	4,482	37%	57	56	1,201	38%	15.2	49	1,924	40%	24.3	72
南薩	1,098	9%	38	46	211	7%	7.3	41	404	8%	14.0	55
川薩	861	7%	41	48	134	4%	6.4	40	306	6%	14.6	56
出水	734	6%	48	51	181	6%	11.8	45	196	4%	12.8	53
姶良・伊佐	1,972	16%	56	56	709	23%	20.1	53	600	13%	17.0	60
曽於	652	5%	40	47	191	6%	11.9	45	261	5%	16.2	58
肝属	1,378	11%	49	52	241	8%	8.6	43	717	15%	25.7	74
熊毛	178	1%	23	38	23	1%	3.0	37	90	2%	11.6	51
奄美	869	7%	41	48	234	7%	11.2	45	258	5%	12.3	52

表 46-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
鹿児島県		-1%	-29%	-9%	-22%	26%	22%
鹿児島	2	9%	-25%	3%	-16%	53%	46%
南薩	3	-16%	-36%	-29%	-33%	1%	-2%
川薩	3	-10%	-33%	-14%	-26%	8%	5%
出水	3	-7%	-29%	-17%	-25%	14%	11%
始良・伊佐	3	3%	-24%	0%	-16%	28%	25%
曾於	3	-15%	-40%	-31%	-36%	9%	5%
肝属	3	-8%	-31%	-16%	-25%	12%	9%
熊毛	3	-10%	-40%	-22%	-33%	17%	13%
奄美	3	-6%	-39%	-8%	-28%	18%	15%

図 46-6 鹿児島県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

